

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
320221	X-21-B-2-320221	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
ロシア語5aA				アレクサンドル プラーソル	【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
					【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

授業目的

ロシア語1・2・3・4基礎文法の導入に引き続き、基本的な知識を整理し、発展させながらロシア語の運用能力を高めることを目的とする。特に語彙力、文法知識を体系的に整理することを目標とする。「話す」「聞き分ける」能力を身に付けるための訓練には十分な時間を割く。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 テキストの第39課 Он вспомнил, что она купила себе сумку 本文の解説・解読 【前・後】 予習・復習1時間</p> <p>第2回 【授】 テキストの第39課 Он вспомнил, что она купила себе сумку 会話練習 【前・後】 予習・復習1時間</p> <p>第3回 【授】 テキストの第40課 Он спросил у меня, понравились ли мне стихи 本文の解説・解読 【前・後】 予習・復習1時間</p> <p>第4回 【授】 テキストの第40課 Он спросил у меня, понравились ли мне стихи 会話練習 【前・後】 予習・復習1時間</p> <p>第5回 【授】 テキストの第41課 Я не пошёл бы в плавание 本文の解説・解読 【前・後】 予習・復習1時間</p> <p>第6回 【授】 テキストの第41課 Я не пошёл бы в плавание 会話練習 【前・後】 予習・復習1時間</p> <p>第7回 【授】 テキストの第42課 Я напишу жене, чтобы она приехала 本文の解説・解読 【前・後】 予習・復習1時間</p> <p>第8回 【授】 テキストの第42課 Я напишу жене, чтобы она приехала 会話練習 【前・後】 予習・復習1時間</p>	<p>第9回 【授】 テキストの第43課 В матрёшке может быть три куклы и больше 本文の解説・解読 【前・後】 予習・復習1時間</p> <p>第10回 【授】 テキストの第43課 В матрёшке может быть три куклы и больше 会話練習 【前・後】 予習・復習1時間</p> <p>第11回 【授】 テキストの第44課 Пойдёмте в парк! 本文の解説・解読 【前・後】 予習・復習1時間</p> <p>第12回 【授】 テキストの第44課 Пойдёмте в парк! 会話練習 【前・後】 予習・復習1時間</p> <p>第13回 【授】 テキストの第45課 Не читать о болезнях 本文の解説・解読 【前・後】 予習・復習1時間</p> <p>第14回 【授】 テキストの第45課 Не читать о болезнях 会話練習 【前・後】 予習・復習1時間</p> <p>第15回 【授】 期末試験の準備、まとめ 【前・後】 配布されたプリントを全部やって、テストの準備をすること。復習2時間</p> <p>第16回 【授】 期末テスト</p>
---	--

成績評価方法

出席率(30%)と期末試験(70%)の結果によって成績を評価する。
定期試験や授業内小テストのフィードバックとして定期試験の全般的な講評を行う。

教科書・参考書

①藤純一、新ロシア語入門 NHK 出版 1999 ② 研究者露和辞典等 ③教員が用意したプリントを配布する。

受講に当たっての留意事項

①毎回宿題あり ②欠席が3分の1を超えた場合は期末試験の受験を認めない。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
○	民間会社での通訳・翻訳の経験を生かす	○

学習到達目標

教科書の基本例文を完全に習得すること。テキストに説明されている高度な文法を習得し、文章の読解能力を身に付けること。高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会なる多文化状況にあってポジティブに協動的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320221	X-21-B-2-320221	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	3年
				【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

授業目的

高度な語学運用能力の習得を目指し、ロシア語の基礎の文法のうち、発展的な内容を学びます。
 作文や精読を通じて語法を習得し、より多くの語彙を増やします。
 学んだ知識を活かして中級水準の作文や発話を試みます。

各回の授業内容

第1回 【授】 教科書第39課 その1 【前・後】 事前に教科書の該当ページに目を通しておいてください。授業後は授業時の指示に従い復習してください。(あわせて1時間程度)	第9回 【授】 第43課 その1 【前・後】 事前に教科書の該当ページに目を通しておいてください。授業後は授業時の指示に従い復習してください。(あわせて1時間程度)
第2回 【授】 第39課 その2 【前・後】 事前に教科書の該当ページに目を通しておいてください。授業後は授業時の指示に従い復習してください。(あわせて1時間程度)	第10回 【授】 第43課 その2 【前・後】 事前に教科書の該当ページに目を通しておいてください。授業後は授業時の指示に従い復習してください。(あわせて1時間程度)
第3回 【授】 第40課 その1 【前・後】 事前に教科書の該当ページに目を通しておいてください。授業後は授業時の指示に従い復習してください。(あわせて1時間程度)	第11回 【授】 第44課 その1 【前・後】 事前に教科書の該当ページに目を通しておいてください。授業後は授業時の指示に従い復習してください。(あわせて1時間程度)
第4回 【授】 第40課 その2 【前・後】 事前に教科書の該当ページに目を通しておいてください。授業後は授業時の指示に従い復習してください。(あわせて1時間程度)	第12回 【授】 第44課 その2 【前・後】 事前に教科書の該当ページに目を通しておいてください。授業後は授業時の指示に従い復習してください。(あわせて1時間程度)
第5回 【授】 第41課 その1 【前・後】 事前に教科書の該当ページに目を通しておいてください。授業後は授業時の指示に従い復習してください。(あわせて1時間程度)	第13回 【授】 第45課 その1 【前・後】 事前に教科書の該当ページに目を通しておいてください。授業後は授業時の指示に従い復習してください。(あわせて1時間程度)
第6回 【授】 第41課 その2 【前・後】 事前に教科書の該当ページに目を通しておいてください。授業後は授業時の指示に従い復習してください。(あわせて1時間程度)	第14回 【授】 第45課 その2 【前・後】 事前に教科書の該当ページに目を通しておいてください。授業後は授業時の指示に従い復習してください。(あわせて1時間程度)
第7回 【授】 第42課 その1 【前・後】 事前に教科書の該当ページに目を通しておいてください。授業後は授業時の指示に従い復習してください。(あわせて1時間程度)	第15回 【授】 第39課から第45課の復習 【前・後】 事前に教科書の該当ページに目を通しておいてください。授業後は授業時の指示に従い復習してください。(あわせて1時間程度)
第8回 【授】 第42課 その2 【前・後】 事前に教科書の該当ページに目を通しておいてください。授業後は授業時の指示に従い復習してください。(あわせて1時間程度)	第16回 【授】 期末試験 【前・後】 今期の範囲をすべて復習してきてください。

成績評価方法

定期試験(期末:70%)および毎回の授業内で課題を出します。それも成績評価の対象(30%)となります。
 課題の解説は随時授業内で行います。

教科書・参考書

教科書はこれまで使ってきた佐藤純一『NHK新ロシア語入門』NHK出版(CD付き)です。
 このほか、必要に応じて補修教材、課題を配布し、これも期末試験の範囲とします。

受講に当たっての留意事項

- ・出席が極めて重要です。できるだけ欠席しないよう努めてください。
 - ・欠席分の挽回は相当の努力を要します。
 - ・この授業は予習・復習が不可欠です。
- 授業時の指示に従って必ず予習・復習をしてください。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×		○

学習到達目標

- ・教科書の基本例文を完全に習得すること。
- ・教科書の読本教材(テキスト部分)を自在に読めるようになること(文意を理解し、音読できること)。
- ・ロシア語の基本的な語彙を増やすこと。
- ・簡単なロシア語でやや複雑な内容を表現(話す・書く)ができるようになること。
- ・ロシア語学習の楽しさを実感すること。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習